

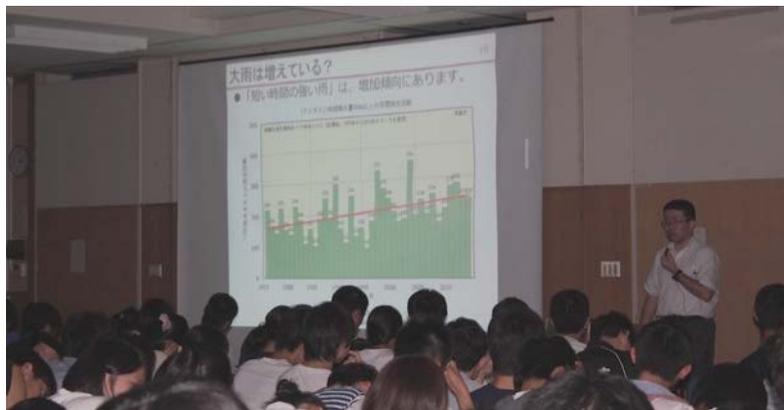
## スーパーサイエンスハイスクール(SSH)災害研究・防災講演会で講演しました(2016/9/8)

テーマ：災害研究，地震災害，活断層，豪雨災害，スーパーサイエンスハイスクール(SSH)  
場 所：宮城県仙台第一高等学校

9月8日(木)，宮城県仙台第一高等学校において防災講演会が開催されました。仙台第一高等学校は平成24年度から5年間にわたり文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールに指定され，様々なテーマの学術研究に取り組まれています。同校の1学年には学術研究基礎「災害研究」が設定され，自然災害による被害，原因，復旧・復興状況，防災・減災等を研究テーマにグループ研究に取り組み，研究活動の基礎を身につけるカリキュラムが設けられています。

今年度の災害研究のスタートとして防災講演会が行われ，安倍祥助手(寄附研究部門)が「災害を学ぶ～これから始まる災害研究に向けて～」と題して，近年の自然災害の特徴や傾向，仙台市内に伸びている活断層の長町-利府断層帯と想定されている地震動や被害について解説したほか，災害研究を進める際のヒントを紹介しました。講演会には1学年の生徒320名のほかに，災害研究を担当される同校の先生方にも参加いただきました。

同校の災害研究には，これまで災害科学国際研究所の複数の教員が協力してきました。5年目の取り組みについても，自然災害に関する課題発見から分析，解決，応用につなげる生徒達の研究活動をサポートして参ります。



講演の様子(写真提供：宮城県仙台第一高等学校)

文責：安倍 祥(寄附研究部門)